

★進路の夏、自分を知る夏☆

第一回考査が終わり、各学年の保護者面談、三者面談も終盤となっています。約1か月の夏季休業となります。各学年とも、授業のない期間を「未来のために自分を伸ばす準備期間」としてほしいものです。今回のトピックは進路活動真っ盛りの3年生、準備を進めるべき1・2年生に分けて掲載します。



○【3年生】<学習・体験：動きのある夏を！>

授業がない高校最後のこの夏、進学希望の生徒も、就職希望の生徒も、毎日の積み重ねこそが力になります。規則正しい生活、学習活動、体験活動、進学・就職先見学、ボランティア・家事手伝い、すべてにおいて社会に出る直前の行動を意識して生活しましょう。

○「迷うことは、真剣な証」…「実際に動いてみる」「誰かと協力する」「相談する」→家族・学校・先生に。

○「準備こそ最大の自信」…面接は「練習が9割」。緊張に慣れるチャンス！予約も事前に、確実に。

ポイント：声に出そう、志望動機。相手に伝わる目線・姿勢・スピードで。

○「自分を語るのは自分だけ」…「自分らしさが伝わる自己PR」はできますか？

ポイント：言葉選び(敬語も含めて)、高校生生活で頑張ったこと・できるようになったこと×3つ



○【1・2年生】<進路意識が高まる過ごし方・考え方を！>

1・2年生は「考える夏」、「探す夏」、「動く夏」です。3年生の進路活動を見て学びつつ、進路希望先のオープンキャンパスに参加したり、個人の学習時間を確保したり、ボランティアにチャレンジしたり、と、身軽に動ける期間になります。未来への投資を。

○「知れば知るほど、選べる未来が」…就職・進学それぞれに必要なものや費用を調べる。

○「今=未来を作る材料！」…部活・ボランティア・資格=自己履歴書。成績だけではない。

○「毎日の積み重ねが未来の自分を助ける」…自分が選ばれる理由に。自分を後押しする自信に。

○「好き=進路のヒント」…「やりたいことがない」は誰しものスタート地点！

ポイント：好きなこと、興味のあることを書き出してみよう。誰かと話してみよう！



○【全学年】<考査が終わったからこそ>

考査が終わり、約1ヶ月が経ちました。夏季休業はありますが、学校が始まれば第2回考査があります。ぜひ、第二回考査までの期間を『作戦期間』にしてください。長期休業中、ぜひ以下の点について考えて下さい。

○成績だけが全てではない。しかし、数字は信用できる材料。

○成長はできなかったことから始まる。次に向けて、今が勝負。

○苦手なことこそ、「のびしろ」。つまずき=スタート地点。

○なぜできなかったのか、原因を知り、対策を立てる。



ゆっくり休める夏は、ゆっくり考えられる夏。何歳でも時間は公平。成長してまた岩高で会いましょう。

●次回のトピック：『○○の秋』